



虹っ子だより

北本市立中丸東小学校

10月号

令和7年9月25日

やさしい子

たくましい子

進んで学ぶ子

な

か

ひ

が

「読書・会話のススメ ～家族で読みたい教科書の名作～」 校長 須郷 聖子

皆さんは、子どもの頃に相当数の物語を国語の教科書等で読んだことかと思えます。幾月の時を経ても、皆さんの心に強く刻まれている作品があるのではないのでしょうか。

昨年、「心と頭の食事は『本ごはん』読書のススメ」として学校だより（10月号）に掲載させていただきましたが、私自身子供の頃に読んだ本が大人になって映画となり、改めてその本を読み返すと、子供の頃とは違った角度で主人公や物語全体をとらえている自分がいました。また、何十年も前に味わったワクワクする瞬間を思い出したりもしました。

先日、書店で目にした本のサブタイトルは～ごんぎつねのラストを覚えていますか～といったものでした。すぐさま手に取り購入した本は「もう一度読みたい教科書の泣ける名作」【Gakken】でした。

「もう一度読みたい教科書の泣ける名作」・・・私はもう一度読んでも、何度読んでも感動する場面は同じでした。（大人になって変わるもの、大人になっても変わらないもの様々かと思えます。）

さて、皆さんは教科書の名作・・・どれだけ覚えていますか？

教科書で扱われている名作は、情景や登場人物の心情を想像して心に残る作品ばかりかと思えます。

読書の秋・・・お子さんと共に『教科書の名作』をぜひ読んでみてください。そして、物語の感想を御家庭で話し合っ（伝え合っ）みてはいかがでしょうか。

皆さんのこれまでの経験から、登場人物や作者の思いなどの感想が御自身の子供の頃とは違っているかもしれません。あるいは、同じかもしれません。また、お子さんと同じ感想かもしれません。皆さんからお子さんへのメッセージ（読書の感想）は、保護者（家族）の思いや願いを伝え、お子さんの考え（感想）を知るきっかけとなるのではないのでしょうか。子供たちが家庭でも自分の考え（感想）を言葉にして伝える良い機会としていただければ幸いです。

ちなみに、『ごんぎつね』は4年生の国語で学習します。学習のめあてに『登場人物の気持ちの変化に着目して読み、感想を書こう・物語の結末について感想をまとめよう』といった内容があります。

お忙しい中かと思いますが、身近な『教科書の名作』などを活用して、御家庭でみんなが読んだ本の感想を伝え合う素敵な時間【家庭との会話時間】をお過ごしください。

～ 国語の教科書～おすすめの名作 ～

- ・ おむすびころりん（１年） 
- ・ くじらぐも（１年） 
- ・ すうっと、ずっと大好きだよ（１年） 
- ・ お手紙（２年） 
- ・ スーホの白い馬（２年） 
- ・ ちいちゃんのかげおくり（３年）
- ・ もちもちの木（３年） 
- ・ ごんぎつね（４年） 
- ・ スワンレイクのほとりで （４年）
- ・ たずねびと（５年）
- ・ 大造じいさんとガン（５年）
- ・ やまなし イーハトーヴの夢（６年）
- ・ 海の命（６年）

※（ ）の学年は、現在本校で使用している教科書（光村図書）に掲載されている学年です。